

## 陶馬(折戸 80 号窯)



陶器で作られた馬の胴のみの遺物。日進市米野木に所在する折戸 80 号窯(8 世紀頃)から出土しました。大きさは縦 7 cm、横 12 cm。表面はなめらかになるように調整し、手で練った痕跡を消して、丁寧に作り上げています。首に近い部分には馬の「たてがみ」の表現と考えられるへら描きがあります。

馬と人の歴史は古く、今から約 1600 年前の古墳時代に日本へ渡来したといわれています。そのころか日本人は様々な場面で馬と親しみながら生業をともにしてきました。陶馬は当時の伝統的な宗教用具で雨乞いなどの祭祀に使われていたと考えられています。